

2021年10月18日作成

Ver.1.0

小児、若年成人における髄液中の脳型トランスフェリンの基準値の探索**1、研究の目的と意義**

脳型トランスフェリンは健常成人と比較して正常圧水頭症の患者では低値を示し、脳脊髄液減少症では高値を示すことが明らかになり、髄液産生のバイオマーカーとして期待されています。しかし、小児や若年成人においてはその基準値が明らかでないため、小児若年成人における基準値の作成が必要です。この研究では、髄液産生のバイオマーカーとして期待される脳型トランスフェリンの小児・若年成人の基準値を明らかにします。

また、炎症のマーカーであるサイトカインについても同時に測定を行い、病態の理解を深めたいと考えています。

2、対象となる患者さん

- ・歩行障害などを主訴とし、髄液検査をはじめ各種検査を行ったが明らかな器質的疾患を認めなかった12～18歳の小児例と18歳～22歳までの若年成人例を対象とします。
- ・調査対象期間： 2010年4月1日～2020年10月31日

3、研究の方法

- ・試料・情報は、研究特有のIDを付与し匿名化された後に各機関に発送します。
- 福島県立医科大学にて脳型トランスフェリン、サイトカインの測定(髄液・血清各0.2～0.5cc)

4、研究に用いる試料・情報

年齢、性別、髄液圧、体位性頻脈の有無をカルテより収集します。

既に採取されて保存されている髄液・血清を用いて、脳型糖タンパク質の一つで髄液産生のマーカーである脳型トランスフェリン、炎症のマーカーであるIL-2、IL-6を測定します。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2022年3月31日

6、外部への試料・情報の提供

福島医科大学へ髄液、血清の提供を行う。

また埼玉医科大学病院にカルテより収集した情報の提供を行う。

7、研究実施体制

本研究は多機関共同研究です。
研究代表機関を中心に、全国の約 6 機関で実施します。

《研究代表機関／研究代表者》

埼玉医科大学病院 脳神経内科／光藤 尚

〒350 - 0495

埼玉県 入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1209

詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 小児科 里 龍晴（長崎大学病院における研究責任者）

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7298 FAX 095（819）7301

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）